



I

IGESのあらまし





IGESが目指すもの

アジア太平洋地域から地球環境戦略を発信

IGESは、人口増加や経済成長の著しいアジア太平洋地域における持続可能な開発の実現を目指し、実践的かつ革新的な戦略的政策研究を行う国際的研究機関として、1998年に日本政府のイニシアティブによって設立されました。

IGESの使命は、大量生産、大量消費によって豊かさを築いてきた20世紀の社会を、持続可能な新しい社会構造へと転換していくことです。そのためには、これまでの社会経済活動を見直し、その流れを変えていかねばなりません。IGESは、新しい社会の枠組み＝パラダイムを探り、実行可能な社会経済システムを作っていくための諸方策を提案していきます。

アジア太平洋地域は、地理的に多様性を有し、文化や社会もさまざまで、経済発展段階も国によって異なっており、この地域において持続可能な開発に向けた戦略的政策研究を行うことは、大きなチャレンジです。IGESは、各国の政府、NGO、企業、市民団体などの多様な意思決定者と積極的に関わり、このチャレンジングな研究とその成果の具現化を目指します。

私たちは、アジア太平洋地域から実効力ある戦略を力強く発信していくことが、21世紀の地球環境戦略研究を推進する大きな力となり、ひいては地球規模の持続可能な社会の実現に貢献するものと確信しています。

アプローチ

国際的な環境戦略研究の実施

IGESは、地球環境問題に取り組む国際的戦略研究機関*です。特定の国の利害にとらわれないグローバルな観点から、環境上適正で公平な社会を作り出すための政策や制度の提案を行います。

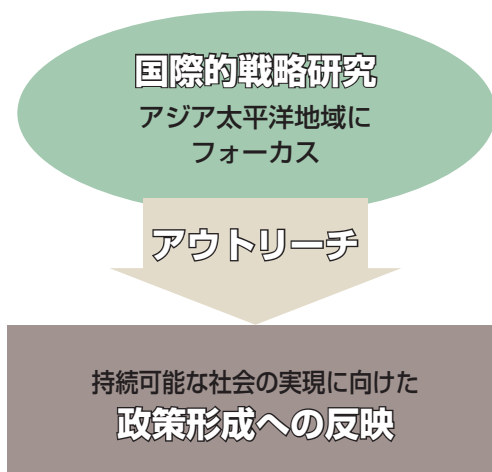
*国連経済社会理事会（UN/ECOSOC）の特別協議資格を取得（2003年4月）

アジア太平洋地域の持続可能な開発の実現にフォーカス

IGESは、世界の中でも特に産業活動や人口が飛躍的に増大し、今後地球環境に大きな影響を及ぼすであろうアジア太平洋地域における持続可能な開発を主要な研究ターゲットとしています。

研究成果の積極的なアウトリーチと具現化

IGESは、単なる学術研究を超えた政策志向型の研究機関です。研究成果を、国際機関、各国政府、地方自治体などの政策形成や、企業、NGO、市民の行動に反映させることを目指し、多様な関係者（ステークホルダー）に向けて政策提言として積極的に発信します。





2003年度の主な研究・事業活動

研究プロジェクト

IGESでは、3年毎のプロジェクト完結による、より実践的な成果を目指した戦略研究を行っています。2003年度の研究活動においては、第2期戦略研究（2001年度～2003年度）の最終年度として、気候政策、都市環境管理、森林保全、環境教育、企業と環境、長期展望・政策統合という6つの研究プロジェクトに取り組みました。また、かねてから長期展望・政策統合プロジェクトの下で設立準備を進めていた「淡水資源管理プロジェクト」を2003年11月に正式に発足しました。

戦略研究の具体化に向けた活動

2003年度は、第2期戦略研究計画の最終年に当たります。その集大成として、これまでの研究成果を集約した各種出版物をプロジェクト毎に取りまとめるとともに、「アジア太平洋環境会議（エコアジア2003）」や「国連気候変動枠組条約第9回締結国会議（UNFCCC/COP9）」をはじめとする国際会議において、各国の政策担当者や研究者を対象に研究成果の発表を行いました。

人材開発プログラム

一連の戦略研究に基づく政策決定の実現をサポートする活動として、人材開発事業を、第1期（1998年度～2000年度）から実施しています。2003年度は、国連環境計画（UNEP）等の国際機関と協力してeラーニングを活用した研修システムを開発しました。

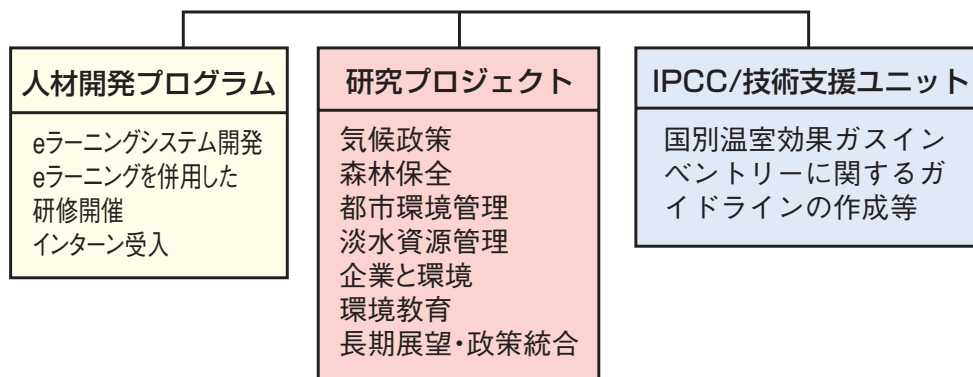
政府間プログラム：

IPCC国別温室効果ガスインベントリープログラム技術支援ユニット（TSU）

グローバルな環境問題に係わる政府間プログラムとの連携として、1999年に、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が実施する国別温室効果ガスインベントリープログラム（NGGIP）の技術支援ユニットが、IGES内に設置されました。2003年度は、土地利用、土地利用変化及び林業（LULUCF）に関する良好手法指針報告書を作成し、IPCCに正式に承認されました。

その他の活動

IGESの国際機関化に関しては、各国政府や研究機関との協力関係の構築に努め、IGES設立憲章署名機関として新たにラオス人民民主共和国科学技術環境庁及びワールドウォッチ研究所が加わりまし。また、設立以来の着実な活動が認められ、2003年4月に、国連経済社会理事会（ECOSOC）の特殊協議資格（Special Consultative Status）を取得し、国連主催の環境関係の会議にIGESとして参加できるようになりました。さらに、アジア太平洋地域における研究活動や共同研究の拠点として、2003年5月にバンコクプロジェクト事務所を開設しました。





年 報
2003^{年度}